



VERY 
GOOD
LOCAL
とちぎ

一級河川 思川

災害復旧助成事業



令和元年東日本台風による降雨・水位の状況

栃木県内の降雨状況について

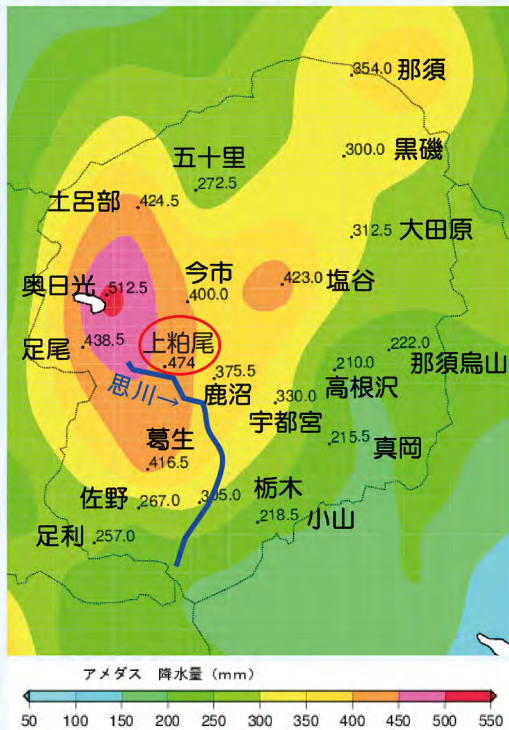
令和元年10月11日から13日朝にかけて、栃木県内14市町に大雨特別警報が発表されるなど記録的な大雨となり、**県内13地点で観測史上最大の累加雨量を記録しました。**

思川流域の特に多いところでは、400mm以上の累加雨量を観測しました。

12日(土)19時50分 **大雨特別警報発表**

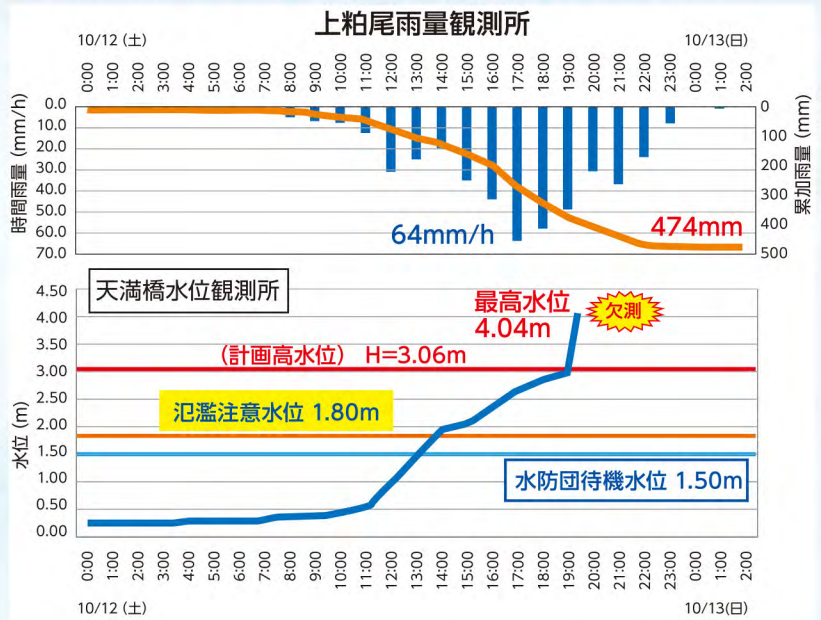
13日(日) 2時20分 **大雨特別警報解除**

アメダス累加雨量分布図
(10月11日0時～10月13日9時)



天満橋水位観測所の水位状況について

上粕尾雨量観測所では、**累加雨量が474mmを観測し、24時間で最大465mm、1時間当たり最大で64mの雨量を観測しました。**



天満橋水位観測所では、水位が氾濫注意水位を超え、**12日19時20分に最高水位4.04mを観測し、その後、施設が被災し欠測しました。**



平常時



出水後

氾濫注意水位

災害発生を警戒する水位
水防団の出動の目安となる水位

水防団待機水位

水防団が出動するための水位

一級河川 思川 について

河川名：一級河川 利根川水系 思川
市町村名：栃木県鹿沼市、栃木市、壬生町、小山市、野木町
流域面積：883km²
県管理区間河川延長：75.0km
河床勾配：1/10～1/1250程度

流域の概要

思川は、栃木県鹿沼市の足尾山地地蔵岳(標高1,274m)の東麓を源流とし、栃木県の中央部を南東に粟野川、南摩川、大芦川、宮入川、小藪川、黒川及び姿川を合わせ流下し、同県南端部にある渡良瀬遊水地に流入する一級河川です。

■位置図



令和元年東日本台風による被害状況・被災原因

被災状況・浸水被害について

令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う豪雨出水により、思川では鹿沼市久野及び口栗野地内の4箇所において堤防が決壊し、**甚大な浸水被害が発生**しました。

(久野・口栗野地区)

浸水面積	床上浸水	床下浸水
約183ha	220戸	196戸
	416戸	



柳橋上流右岸決壊により家屋が浸水



浸水した鹿沼市消防団小屋



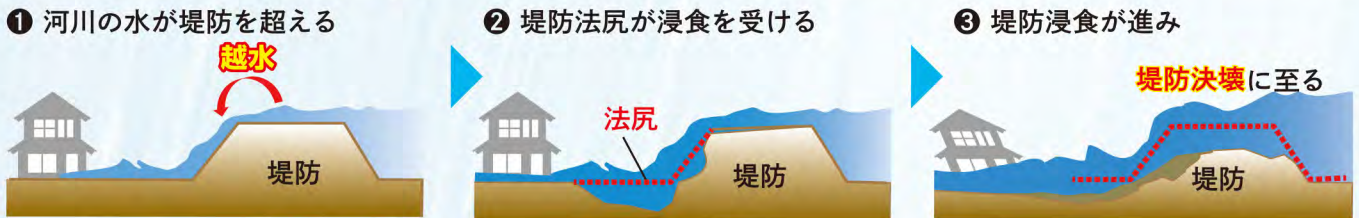
浸水した栗野郵便局

被災原因について

令和元年東日本台風による浸水被害は、**思川で流せる水の量(流下能力)を超える洪水**により、河川の水が堤防を越え、**堤防が浸食を受けて決壊**したことにより発生しました。

被災メカニズム

河川水の越水による堤防決壊(イメージ図)



令和元年東日本台風に関する新聞記事(下野新聞)

●令和元年10月13日(日)号外

●令和元年10月17日(木)

思川災害復旧助成事業概要

災害復旧助成事業

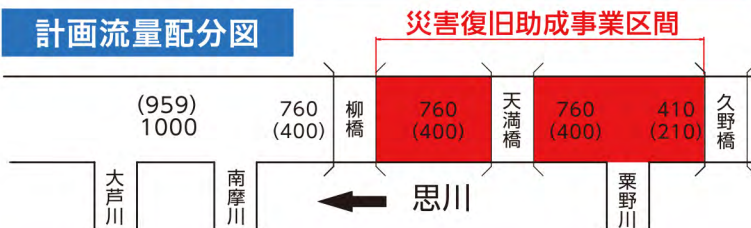
令和元年東日本台風に伴う豪雨出水により、思川の鹿沼市久野及び口栗野地内の**4箇所において越水による堤防決壊が発生し、甚大な浸水被害が発生しました。**

これらの復旧に対して、思川の柳橋から久野橋までの一連区間3.2kmについて、**今回と同規模の大雨が降っても、河川の水が堤防から溢れない改良復旧を目指し、「災害復旧助成事業」を実施します。**

この区間において、河道掘削、河道拡幅、護岸設置等の**工事を集中的に実施し、再度災害防止を早期に図ります。**

事業箇所	栃木県鹿沼市久野～口栗野
事業延長	3.2km
計画勾配	1/230
事業期間	令和元年度～令和4年度(予定)
事業費	約23億円
工事概要	河道掘削・竹林伐採・築堤・護岸等

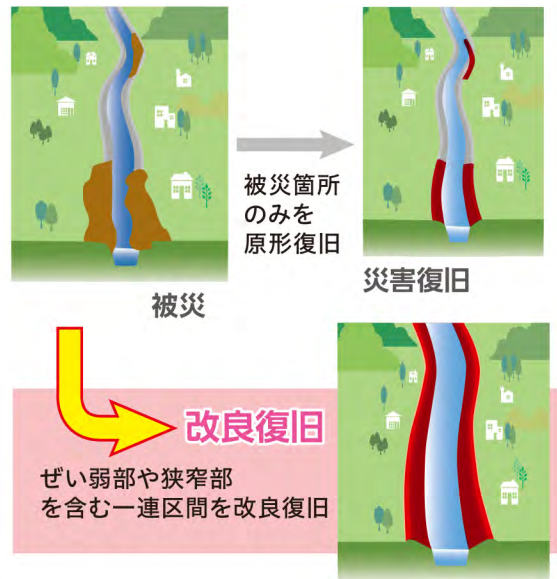
計画流量配分図



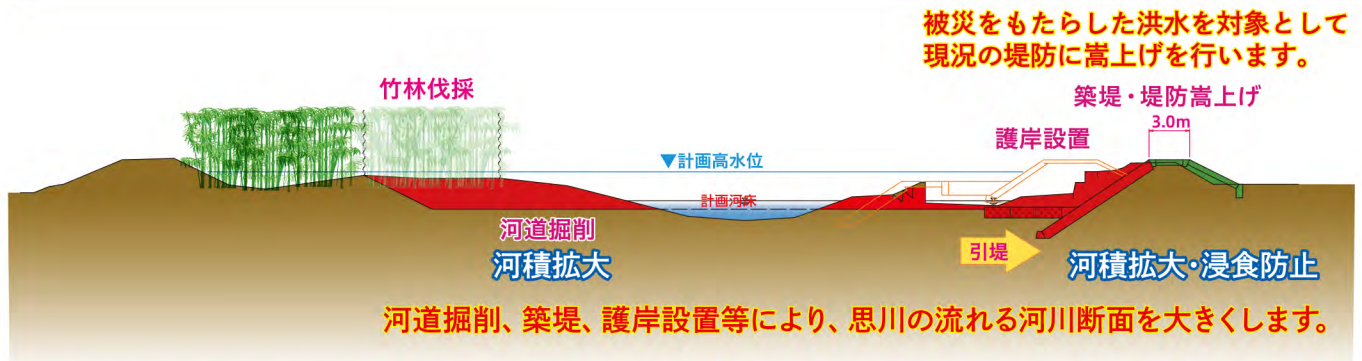
改良復旧イメージ

災害復旧による原形復旧のみでは再度災害の防止が図れない河川の施設被害については、**未災害箇所を含めた一連区間において、河積拡大等の改良復旧を行います。**

改良復旧のイメージ(河川)



災害復旧助成工事概要(横断図イメージ)



堤防強化緊急対策プロジェクト事業

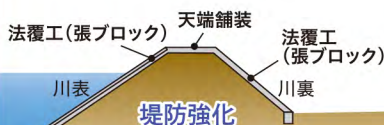
令和元年東日本台風において堤防決壊や越水により被災した箇所の整備効果を最大限に発揮させるため、**災害復旧助成事業と併せて堤防強化を実施します。**

被災した箇所が再度被災しないようにするため、**越水した場合でも長時間耐えることができる粘り強い堤防構造に強化します。**

巻堤・堤防拡幅

堤防全体をコンクリート等で被覆する構造

堤防を厚くして、川表・堤防天端・川裏までコンクリート等で保護することで粘り強い堤防に強化します。



巻堤、堤防拡幅箇所

- ×堤防決壊箇所 天満橋下4号右岸
天満橋下1号右岸
向寺橋下流左岸
- ×越水箇所 天満橋下2・3号右岸
栗野川合流左岸

思川災害復旧助成事業区間 L=3.2km



一日でも早く、安心して暮らせる故郷を取り戻すために。私たちは建設産業の総力を集結し、全力で改良復旧に取り組んでいます。

災害に強い 県土づくり

台風や豪雨による洪水などの災害の発生が予想されるとき、県民の迅速な避難行動や水防活動の目安となるように、雨量や河川水位情報、洪水ハザードマップなど、様々な方法により情報発信を行っています。

● 河川情報の提供 ●

県内の雨量・河川水位・カメラ映像を、電話やインターネットにより確認することができます。

雨量・河川水位情報
とちぎリアルタイム



電話で確認

県央部
028-623-5751
028-623-5760

県北部
028-623-5752
028-621-4146

県南部
028-623-5754
028-624-1309

県東部
028-623-5753
028-621-4196

県内ダム
028-623-5756
028-624-1349

携帯電話版

<https://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/m/>

パソコン版

<https://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/>

インターネットで確認



川の水位情報



全国の河川水位・カメラ映像をインターネットにより確認することができます。



<https://k.river.go.jp>



洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップは、洪水浸水想定区域や避難場所、避難経路等の洪水などの避難に必要な情報を記載した地図です。市町では、災害が起きたとき、住民一人ひとりが適切に避難できるようハザードマップの周知に努めています。

浸水深区分	
10.0~20.0m未満	浸水深5.0m以上
5.0~10.0m未満	浸水深3.0~5.0m未満
3.0~5.0m未満	浸水深1.0~3.0m未満
0.5~3.0m未満	浸水深0.5m未満
0.5m未満	

地図凡例	
避難所	浸水した場合に予想される水深
地区別避難所	0.0~0.5m未満
防災関係施設	0.5~3.0m未満
水位観測所	3.0~5.0m未満
雨量観測所	5.0~10.0m未満
消防団詰所	浸水想定区域*
防災倉庫	土砂災害危険区域
水防倉庫	土砂災害特別警戒区域
大雨時通行止め箇所	土砂災害警戒区域
臨時ヘリポート	

*家屋倒壊等氾濫想定区域とはこの区域は家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸浸食の発生が想定される区域です。災害時は、避難勧告などに従って当該区域から安全な場所に速やかに・確実に立退いてください。

改良復旧事業の概要について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域の皆さまに回覧板等を活用して、事業内容等の情報を提供して参りましたが、より丁寧な情報提供のため、鹿沼土木事務所のホームページで、事業概要、説明動画、復旧状況等を公開しています。 ホームページアドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/h52/>



栃木県 鹿沼土木事務所

〒322-0068 栃木県鹿沼市今宮町1664-1
TEL.0289-65-3211(代表) FAX.0289-65-3218

